

鎌と縄を持つ男子埴輪〜「旧さきたま考古館展示土器類」から〜

市指定文化財「旧さきたま考古館展示土器類」に含まれる人物埴輪を紹介いたします。高さは約64センチメートル、下半身が省略された半身の男性像で、両腕は失われていますが、肩の位置から右手を上へに上げているようです。頭頂部には王冠のように広がった表現がみられます。被り物、または鉢巻のようなものでかき上げた髪の毛を表したものでしょうか。顔の造りは実にユーモラスで、細工に使われたヘラを差し込むようにして穿たれた目や口は斜めにゆがみ、何ともいえない表情になっています。

大きな特徴は左腰に着けられたX型のパーツと、背面右腰に見られるL字型の粘土帯の上に重ねられたドーナツのような丸いパーツです。この腰のX型のパーツは形状から鎌、背面のパーツは丸められた縄を表現している可能性が指摘されています。



鎌と縄を持つ男子埴輪
(郷土博物館蔵)

の人物埴輪に多く見られます。馬型埴輪の傍らから出土することが多い馬曳き埴輪の腰には、飼葉を刈るための鎌が下げられている事例が多くあります。背中の縄も馬をつなぐためのものと考えれば、この男子埴輪も馬曳きであると考えられます。ただ、馬曳き埴輪の頭部表現としては王冠のように開いた装飾性が高い表現は珍しいといえるでしょう。

この埴輪の背面の台座部分には「No.2」という墨書きがあります。この人物埴輪と共通した表現を持つ女子埴輪（No.1の墨書きあり）や武人埴輪とともに「昭和十三、十一大宇埼玉丸墓通」の墨書きを持つ上半身のみの人物埴輪と同じ埼玉古墳群の小円墳から出土したと考えられます。以前、この「旧さきたま考古館展示土器類」に含まれる人物埴輪について報告した塚田良道さんによれば、これらの人物埴輪グループは、この墨書きを施した地元の考古資料収集家が収集、復元し、のちに設立された埼玉考古館に収蔵されました。（※）この男子埴輪に施された墨書きは、開発により古墳や史跡が姿を消していく中で、現代へとつなげられた考古資料の来歴とそこに関わった人々の存在を示すものでもあります。

※「埼玉丸墓通出土の人物埴輪―小円墳における人物埴輪の構造―」塚田良道 二〇〇一「埴輪研究会誌」第5号

(郷土博物館 浅見貴子)

はじめまして



令和3年7月生まれのお子さんを募集します

- 5月2日(月)～31日(火)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、6月2日(木)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和3年5月生まれのおともだち



石川 結月ちゃん(倉野)
令和3年5月11日生まれ
父・雅信さん 母・千花さん
「沢山の幸せが訪れますように♡」



小池 伍樹ちゃん(佐間)
令和3年5月28日生まれ
父・紘史さん 母・リステイさん
「これからも笑顔で元氣いっぱい大きくなってね♡」



島田 愛理ちゃん(下忍)
令和3年5月29日生まれ
父・健作さん 母・絵理香さん
「笑顔は我が家の宝物♡」



篠原 美悠ちゃん(富士見町)
令和3年5月25日生まれ
父・成樹さん 母・成美さん
「我が家の可愛い天使ちゃん♡」



足立 大晟ちゃん(白川戸)
令和3年5月27日生まれ
父・淳さん 母・みゆきさん
「たくさん笑顔をありがとう♡」



影山 結大ちゃん(埼玉)
令和3年5月15日生まれ
父・敬祐さん 母・美智代さん
「笑顔で元氣にすくすく育ってね♡」

編集・発行／行田市総合政策部広報広聴課
〒361-1860 行田市本丸2番5号
TEL 556-1111 FAX 550-2116

今月の表紙 児童・生徒数が減少し、小・中学校の小規模化が進んでいる本市では、3月31日をもって5つの小学校が閉校し、4月から新たに2つの小学校が開校しました。閉校した5校の伝統と精神は、新しい学び舎で、これからも受け継がれていきます。

現在の友だち登録数 28,500人!

LINE 行田市公式LINEの友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>

環境にやさしい植物油 INK

市報ぎょうだは再生紙を使用しています